

通常 6 月から 10 月にかけての緑の季節のあいだ、白馬八方尾根で最も人気ある美しいトレッキングコースは、なんといっても中部山岳国立公園を通るコースです。八方アルペンラインと黒菱ラインの終点の、八方池山荘からスタートします。そこから、日本百名山に名を連ねる富士山や他の山頂が見られるかも知れません。

歩いて行くと緑豊かな高原となりますが、ここは固有種の高山植物がたくさん生え、長野県天然記念物にも指定されています。少し運が良ければ、ニホンカモシカやライチョウを本来の生息環境のなかで見ることができるかも知れません。

90 分ほど長い上り坂を行くと、やがて透明な八方池に出ます。ここは日本北アルプスの展望台としても知られています。標高が 2060m もあり、藍色の池の水にも映り込む、白馬三山の山並みと空の息をのむ眺めには驚くことでしょう。池周辺の大きな岩のひとつで休憩して、高山の爽やかな夏風を楽しみましょう。